

# 基金は大切な“貯金”

(表1) 平成24年度末 (H25.5月末) 現在の基金残高

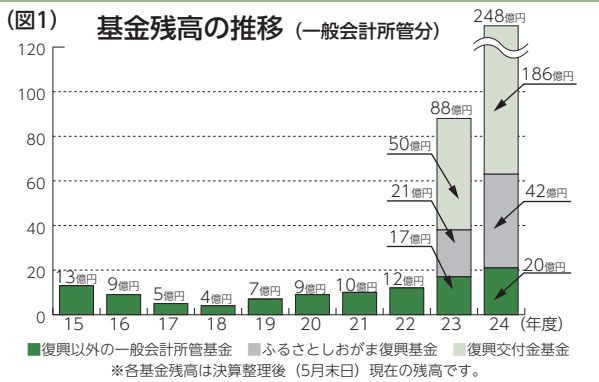
会計	基金名	残高
一般会計	財政調整基金	6.9億円
	市債管理基金	6.0億円
	庁舎建設基金	2.4億円
	ミナト塩竈まちづくり基金	3.7億円
	カメイこどもの夢づくり基金	0.6億円
	海難交通遺児教育手当基金	0.3億円
	災害救助支援基金	0.6億円
特別会計	ふるさとしおがま復興基金	42.1億円
	東日本大震災復興交付金基金	185.7億円
	国民健康保険事業財政調整基金	5.9億円
	漁港整備基金	0.0億円
介護保険事業財政調整基金	2.0億円	
合計		256.3億円

※四捨五入の関係で、内訳と合計は一致しません。  
 ※漁港整備基金残高は四捨五入によりゼロ計上(残高371千円)。

今回は基金についてのお話よ。一言で言えば、市の「貯金」ね。自治体も貯金してるの!? そうよ。自治体にとって、基金はとても重要な財源なの。一時的にお金が必要なときに取り崩したり、将来の大きな目的のために毎年貯金をしたりとかね。

塩竈市はどのくらいの貯金があるの? 平成24年度決算後の残高は約256億円よ(表1)。大部分が一般会計所管の基金だけど、その中でも塩竈市の復旧・復興事業の財源になる「ふるさとしおがま復興基金」と「東日本大震災復興交付金基金」が大部分を占めているわ。

たくさん種類があるんだね! いろんな名前がついていて面白いなあ。



そうですね。目的にちなんだ名前が多いわね。財政調整基金のように法律で設置が義務づけられている基金もあるけど、基本的には特定の目的のために積み立てられているものなのよ。それに、将来のために一定の額を持つておくことが必要なの。もちろん、取り崩すためには条例に定められた目的で議会の議決を受けないといけないわ。

ふむふむ。

ところで、基金残高は平成23年度から急激に増えたんだけど、なぜだか分かる? 震災の関係?

正解! 一般会計所管の基金総額で見ると平成22年度が12億円だったのに対し、平成23年度では88億円、平成24年度だと248億円にまで増えているわ(図1)。

復旧・復興のための基金が増えたんだね。ふるさとしおがま復興基金は、全国の寄付金や国からの交付金、県からの交付金と原資になっていて、復旧・復興のための財源として大切に使っているわ。東日本大震災復興交付金基金は、市の震災復興計画に基づいて必要な財源が国から前倒しで交付されているので、実際にお金を使うまで積み立てておいているのよ。

どの基金も、将来の「ふるさと塩竈」のための大切な「貯金」なんだね。

問 財政課財務係  
 ☎364-1111  
 (内線238・239)

## 防災会議で地域防災計画について意見交換をしています

本市地域防災計画の抜本的見直しのため1月から開催してきた防災会議では、基本理念を策定し指定避難所や避難行動要支援者など6つの課題について議論を重ねてきました。会議は、市長を会長とし、自衛隊や消防団、学識経験者や市民団体など各方面からの代表で構成されています。



▲市民の皆さんが傍聴する中、多数のご意見をいただきました

10月18日(金)にエスポホールで開催された第4回防災会議では、災害対策の強化や復興のさらなる発展を目指すため、13項目の策定基本方針をもとに見直しを図った地域防災計画(素案)「地震災害対策編」・「津波災害対策編」の概要説明と意見交換を行いました。

今後、頂いた意見については地域防災計画(原案)に反映していきます。

- 《策定基本方針》
- 多様な主体の参画による防災体制の確立
  - 男女共同参画による防災対策
  - 「減災」に向けた対策の推進
  - 公助・共助・自助が一体となって取り組む防災の推進
  - 避難行動要支援者対応
  - 被災者等への適時的確な情報伝達
  - 災害応急対策や災害復旧・復興を迅速かつ円滑に行うための体制整備
  - 二次災害の防止
  - 迅速かつ適切な災害廃棄物処理
  - 大規模災害時における広域応援体制の充実・強化
  - 情報通信ネットワークの耐災化、補完的機能の充実
  - 複合災害の考慮
  - 円滑な復旧・復興

問 市民安全課防災係  
 ☎364-1111  
 (内線245)